



東北大学史料館

コレクション紹介展—No.3 2014.1.10

くまがいたいぞう

# 熊谷岱蔵の書画

ノーベル賞を逃した

医学者のたしなみ

展示予定期間

2014/1/10(金)～2/14(金)

史料館の名品・珍品を随時ご紹介する「コレクション紹介展」。久しぶりの第3回は、もと医学部教授で戦時中に総長をつとめた医学者・熊谷岱蔵（1880～1962）の書画を展示中です。

熊谷は、1916年以来東北帝国大学医学部(内科学)の教授をつとめ、1941年には抗酸菌病研究所の初代所長、1940年からは6年間にわたり本学総長をつとめました。膵ホルモンのインシュリン抽出研究でわずかの時期差でノーベル賞を逃したといわれ、また結核医学の研究でも著名です。1952年には文化勲章を受章しました。

同時に熊谷は書画とりわけ墨画をたしなむ風流の人で、法文学部の阿部次郎や小宮豊隆、勝本正晃、医学部の太田正雄（木下杳太郎）、工学部の原龍三郎ら書画を好む多くの教授たちとひんぱんに書画の会を催していました。多くの知人・門弟に贈った書画がいまも多数残され、厳格な医学者のもう一つの顔を今に伝えてくれています。